



## ちょっとおおめに

ねん くみ ( )

ミチオは、きゅうしょくとうばんで、おおきな おかずのはいぜんを していました。

いつも みんなに おなじぶんだけの きゅうしょくを いています。けっこう むずかしい さぎょうですが、ミチオは かんぺきに できていました。ミチオは、ほとんど おなじくらい 入れることが できるのです。

「ミチオは、いいしごとを するなあ。」

そうやって、せんせいまで ほめてくれていました。

そのひの こんだては、みんなが だいすきな カレーでした。

しんゆうの カイが、おぼんを もって ならんで、おねがいを してきました。

「なあ、たのむよ。ぼく、カレーが だいすきなんだ。ちょっと おおめに いてくれないか。」

「だめだよ。みんな おなじにしないと。」

「ちょっとくらい、ばれないだろう？ おねがい！」

ミチオは、カレーを かきまぜながら、どうしようかとか かんがえました。



ミチオは、おおめに いてあげるべきでしょうか。あなたの かんがえと りゆうを かきましよう。

.....

.....

はなしあって かんがえたことを かきましよう。

.....

.....